

# 緑化だより

No.38 平成21年5月号



ハンカチノキ 平成20年4月27日撮影

- 虹色きのこ
- 植物と歴史
- 花だより

- 研修会・イベント報告
- 研修会・イベント紹介
- お知らせ・ご案内

**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)



# 虹色きのこ

## (2) 橙色

七色の虹のようにきのこも美しい色合いのものがあります。今回は橙色です。

### ヒロチャワンタケ(緋色茶碗茸)

林道沿いの裸地に群生するきのこで、初めて見かけた時は、はっとするような色合いです。直径は2~6cmで柄はありません。茶碗というよりも皿のような形になります。食毒不明です。

### ハナガサイグチ(花傘猪口)

全体が鮮やかな橙色で、地味な色が多い林の中ではほんとうによく目立ちます。傘の表面は多少繊維状で毛羽立ち、やや粉質です。柄には縦長の網目模様があります。傘の裏は管孔状(細かい穴がたくさんある)で、それぞれの穴は橙色に縁取られます。食毒不明です。

### ダイダイイグチ(橙猪口)

このきのこも前種と同様全体が鮮やかな橙色で美しくよく目立つのですが、前種と異なる点は、触ったり傷つくとその部分が速やかに青色に変色するということです。傘の裏は管孔状です。青変して気持ち悪いようですが食用になります。



ヒロチャワンタケ



ハナガサイグチ



ダイダイイグチ

## 植物と歴史

### 『植物の進化(1)』

前回で述べましたが約4億4000万年前、淡水の水底に生活していた緑藻類の一部が、陸上に進出しました(淡水・海水植物と学説によりことなっています)。海からも進出が試みられましたが陸上の環境に対応できず、また海に帰っていきました。海へ帰った植物とは、今でも波打ち際周辺に見られるアラメやカジメ、ホンダワラ等々といった海草達です。さて、植物体の最古の化石はシルル紀のクックソニアですが、陸上植物が存在した胞子の化石はオルドビス紀から発見され、現在では植物の上陸はオルドビス紀と考えられています。さて、植物の進化は、一つの植物が個々に行ってきたものではありません。地球上の全ての生物は、ほかの生物となんらかのかかわり合いをもって生活しています。そこには、「食うー食われる」「たかるーたかられる」「競争して奪い合う」といった利害の相反する敵対・競争関係や花と花粉を運ぶ昆虫の関係、樹木と菌根菌の関係などのように相互に利益を与え合う相利関係などでほかの生物と深く結びついています。このような生物間関係を「生物間相互作用」と呼び、現在地球上に記載されている種だけでも140万種の生物がつながり合って暮らしています。また、種が多く多様であるだけでなく、形態や生態も千差万別です。どうしてこれほど多くの種が生まれ多様な生物種が生存できるのでしょうか。それは、それぞれの種に属する個体が生活する環境に非常にうまく適応しているからです。このような適応的な形態や習性を「適応進化」と呼び、自然淘汰という機能により進化してきたと考えられています。(次回は、進化とDNAです)

# 花だより

## エゴノキ エゴノキ科エゴノキ属

5月の中旬になると、各地の道端でやや芳香のある白い花をぶら下げた樹木を見かけます。緑化センターでもあちこちで見ることができるのが**エゴノキ**です。エゴノキ科エゴノキ属の落葉高木で、別名:チシャノキ・ロクロギなどと言われています。

果実は灰白色の卵型で秋に熟します。果皮には有毒の**エゴサポニン**を含んでおり、すりつぶして魚毒として魚を麻痺させて捕獲<sup>\*</sup>したり、若い果実は石鹼とおなじように洗剤として利用したりしていました。

果実が熟すと果皮が割れて中から種子が1個でてきますが、この種子は**ヤマガラ**の大好物です。秋になるとエゴノキの実をとっては地中に埋めてから食べます。そうやってエゴノキは生育範囲を広げ、貯蔵型散布種子と言われています。ヤマガラのほか、カケスやキジバト・シメ・ヒヨドリなどが食べます。

枝先に小さいバナナのようなものがつくことがありますが、「**エゴノネコアシ**」と言い、エゴノネコアシアブラムシが寄生してできた虫えい<sup>い</sup>です。7月になると中からアブラムシがでてきて、イネ科の**アシボソ**との間で行き来を繰り返しています。

和名は果実をえぐい(ひどい)味がするからと言われています。同じ仲間では**ハクウンボク**(別名:オオバジシャ)もあります。

※現在、この漁獲方法は禁止されています



エゴノキの花



エゴノキの実



エゴノネコアシ(虫えい)

## 研修会・イベント報告

4月7日(火) 『春の写真教室』

園内の桜が満開の中、「春の写真教室」を開催しました。午前中はプロジェクターを使用し、講師の宗岡先生が園内で撮影された花の写真などを使って、撮影のポイントについて話をされました。この中で良い写真を撮るには、背景が大切と言うことで早朝、夕方の撮影、木をバックにして暗くする方法など指導されました。また、撮影する際に周囲に映る枝や幹の流れの造形などにも注意が必要ということでした。説明の後に質疑時間が設けられPLフィルター・ヒストグラムについて質問あり、わかり易く説明していただきました。研修は昼まででしたが、先生のご好意で午後からは屋外で写真撮影の指導があり、参加者は午前中に習った背景を暗くする方法やぼかす方法などを取りいれてヤブツバキやコバノミツバツツジなどの撮影を行いました。

緑化センターでは春の緑化写真コンクールを行っております。応募締め切りは6月26日となっておりますので一段とレベルアップした自信作の応募をお願い致します。



春の写真教室

# 研修会・イベント紹介

○5月8日(金)『5月の自然探勝』10:00～12:00 集合

講師:広島大学名誉教授 石橋 昇 先生

毎月第2金曜日に開催している植物観察会です。定期的に観察を行い、植物の変化を確認してみませんか。

○5月13日(水)『晩春の自然探勝』10:00～12:00 管理事務所前集合

講師:広島大学名誉教授 関 太郎 先生

晩春の花や新緑を観察しながら散策します。爽やかな気候の中、ゆっくり植物の観察をしてみませんか。

○5月21日(木)『晩春の写真教室』10:00～12:00 学習室集合

講師:写真家 大藤 哲己 先生

デジタル1眼レフカメラを中心にカメラの扱い方やポイントなどについて学習します。質問も受けながら行います。

○5月23日(土)『早朝探鳥会』5:00～8:00 管理事務所前集合

講師:日鳥連会員 吉見 良一 先生

夜明けと共に囀り始める野鳥の観察会を行います。去年は、17種類が確認されましたが、さて今年は。

○5月28日(木)『庭木の病虫害対策について』10:00～12:00 学習室集合

講師:樹木医 岡田 剛 先生

庭木の病虫害についての説明や紹介、対策などについて学習します。質問も受けながら行います。

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

○押し花展 4月25日(土)～5月17日(日)

押し花で作成された作品の展示。丁寧に作られた押し花をご覧ください。

○野鳥写真展 5月21日(木)～6月12日(金)

野鳥愛好家が撮影した野鳥の一瞬の表情をお楽しみ下さい。

○木の実を使った工作展 開催中～5月8日(金)迄

木の実や枝を使って作られた人形や動物の作品を展示。

○夏のバードカービング展 5月15日(金)～7月8日(水)

木彫りで作られた野鳥を展示。実物大で作られ、羽の細部まで描かれています。

◎ 5月は無休です

5月の休園日はありません。毎日開園しています。

◎ 園内をご利用される皆様へ

○ペットを連れてご利用することはできませんが、リードで繋ぎ、糞はお持ち帰り下さい

○火の使用は禁じられていますので、バーベキューはできません

○園内の通路で狭い箇所があります。通行される際は『徐行』でお願いします